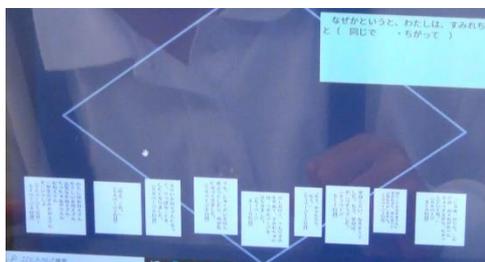




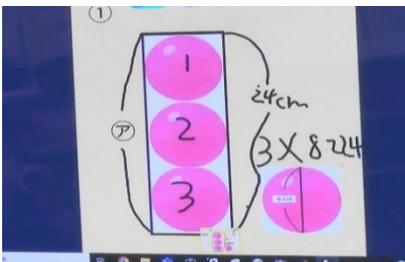
11月9日に第5回小郡市ICT教育推進委員会（味坂小学校公開授業）を開催しました。

### 【公開授業について】

- ◎ 2年生国語科「わたしはおねえさん」
- ◎ 3年生算数科「円と球」
- ◎ 4年生道徳科「つくれぬいでしょ」



シンキングツール（ダイヤモンドランキング）を活用し、一番心に残った場面を選び出し、友達と交流して、考えを深めました。

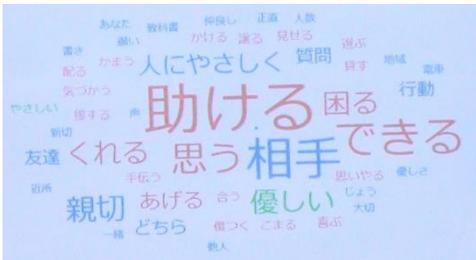


球の収まる箱の縦や横の長さをタブレット上の図形に直接記入し、交流することで、対話活動が活発になりました。

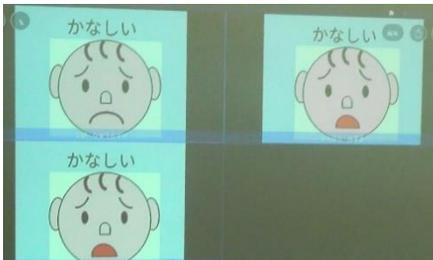


日頃の頑張りや友達のよさを書いた「頑張りカード」をロイロノートで送り合い、「自分の長所を伸ばす」ための自己決定につなげました。

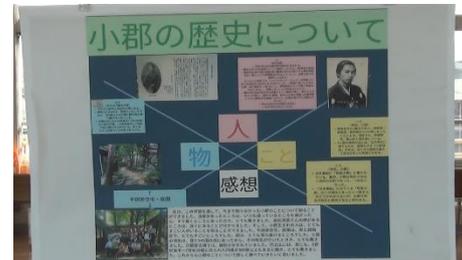
- ◎ 第5学年道徳科「くずれ落ちた段ボール箱」
- ◎ 自立活動「気もちたんてい団になろう」
- ◎ 廊下の掲示物



テキストマイニングを活用し、「親切」のとらえ方を全体共有しました。授業前後で比較し、考え方の変容を視覚的に捉えさせました。



ロイロノートで気持ちに合う顔の表情を作成しました。その後、気持ちに応じた自分の表情を撮影し、理解を深めました。



小郡市の歴史について、シンキングツールを活用してまとめています。多面的な見方で調べて整理することができています。

【味坂小学校の取組について】 次の取組はアンケートの中で、参考になったという声が多かった取組です。

- 利活用の目的を明確にするため、週案を活用して計画的に活用。
- 授業の目的を達成するために効果的であったかどうかを授業者が振り返って評価し（◎、○、△、×）、一覧表（一部抜粋下図）に集約し、職員全体で共有。次年度のカリキュラム・「情報活用能力育成計画」に反映させる。

R4 ICT活用 一覧表（※一部抜粋）  
◎・・・P Cを使った方がノートよりよかった。 ○・・・ノートに書くのと同じ  
△・・・あまりよくなかった ×・・・しない方がよい

学年	月	教科	単元名	めあて	ソフト名	評価	備考（P Cを使ったよさ）
2	5	生活	やさいのせわをつづけよう	野菜がどのように成長したのか観察しよう	ロイロノート	◎	写真を撮ることで視覚的に成長を感じることができた。
2	5	国語	かんさつめいじんになろう	かんさつ名人になるために大切なことを考えよう	ロイロノート	○	
2	5	算数	長さをはかろう	ものさしを使って、いろいろなものの長さをはかろう	ロイロノート	△	操作に時間がかかり、ものさしを使う活動を十分に確保できなかった。

### 味坂小学校 主幹教諭 神崎 昇（小郡市ICT教育推進委員）

今年度は、学習活動の各段階におけるタブレットの効果的な利活用に取り組み、タブレットを使った方が準備の負担が少なく学習を進めやすい、効果的だという授業が多くなってきました。学習の振り返りでは、5分間に400文字を超える文書を作る児童もいて、先生方も手ごたえを感じているようです。今回の公開授業では、そのような姿が見られたのではないのでしょうか。今後は、文字を打つ力から書く力につなげ、ICTを使った発信活動にも取り組んでいきたいと思っています。

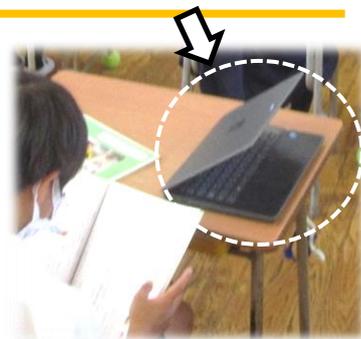
#### ◇ 福岡県教育センター 宇佐 輝彦 指導主事 からの助言（要旨）

- ・ 情報活用能力とは、どの教科等でもこれまで行ってきた「調べて、まとめて、伝える力」であり、ICTを活用することで、それぞれの質がアップしていくものである。教科等のねらいを達成するためにどう活用するかという目的意識を教師が持ち続けることが大切である。
- ・ 情報活用能力を育成するためのカリキュラム・マネジメントについては、教育課程を中心に据えながら、組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくことが大切である。

#### 【ICT教育推進委員会に参加された先生方の感想】

##### 【授業公開や実践報告で参考になったこと】

- ・ タブレットを触らないときは、「画面を少し閉じて90°回転させる（右写真）」。これはとてもよかったです。自校に持ち帰りたと思います。また、廊下の掲示板もICTを活用していることが分かりとてもよかったです。
- ・ 各学年、各教科でのICT活用について一覧表にまとめられていたのがとても参考になりました。自校でも各学年での実践の取り組みをまとめ、全体で共有していきたいと思えます。
- ・ 算数科の授業で提出箱を通して、少人数授業（別室）で学んでいる仲間とつながっている姿を見てとても面白い実践だと思いました。新しい視点をたくさん与えてもらいました。
- ・ 本校の研修は、ICT教育推進委員からの情報発信が中心となっているので、他の先生方の実践を交流する場をより充実させたいと思えます。



#### ◇ 福岡工業大学短期大学部 石塚 文晴 教授 からの講評（要旨）

（福岡県情報活用能力向上推進協議会委員）

- ・ 味坂小学校の授業を参観し、驚くほどICT活用が進んでいると感じた。また、ICT機器を活用する基盤としての学習規律がどの学級でも整っていることにも感心させられた。
- ・ 授業での活用が進むためには、タイピング力が不可欠であるが、子どもたちのキーボードを打つ速さにも驚いた。大学生よりもスキルが高い子がいる。情報活用能力としての基礎的な操作の習得もできている。日頃からタブレット端末を子どもたちが授業で使いこなしていることが掲示作品からもよく分かった。
- ・ 昨年度は、まずは積極的に「使ってみる」ことから始められている。一年間たって今は、「活用の効果を確認しながら取組が進められている」ことがすばらしい。
- ・ 学力とICT活用とのつながりについては、ヨーロッパの研究で既の実証されており、使い始めて3～4年目から、しっかりやっている学校とそうでない学校との「学力差」が生まれることがわかっている。味坂小学校の今後の取組を通じた学力向上が強く期待できる。

#### 味坂小学校の授業で見た『主体的な活用』の姿

教育長 秋永

これから求められる学力の中核は「主体性」です。

「教師の指示を受けて使う」段階から「子どもが使いたいと思って使う」段階へと味坂小では、自然にレベルアップしてきています。自分の思い・願いの実現に向け自己選択・自己判断・自己決定ができる子どもたちが育ってきていることを感じました。

例えば、右の写真は、4年生道徳の授業で、「水色付箋」（後ろ向きな気持ち）を選んで考えを書いていた子が、全体交流の際、自分とはちがう「ピンク色付箋」（前向きな気持ち）を選んで考えを発表している子の発言を聞きながら、端末上に発表している子のノートを自ら読み込んで注視し、理解を深めようとしている様子です。真に相手の考えをわかりたいという強い気持ちが主体的な端末操作に現れていました。2年生国語では終末段階で、教師の指示がないのに、ノートを写真に撮って記録に残そうとしている子どもの姿がありました。さらに、どの学級でもタブレット上の文章を「書いては見直し、書いては別の表現に改めよう」と粘り強く『推敲』し表現を高める姿がありました。



こうしたICT活用を通じた「主体的な学び」を積み重ねることで、『真の学力』が育ち行くことを、子どもたちの姿から教えられたように思います。